

研究結果報告書

本研究の目的は、日本と中国における後期普通中等教育（中国の普通高級中学、日本の高等学校に相当）の学校間格差が生徒の学習行動や教師の指導方法などに与える影響を明らかにすることである。

今回の研究を通じて中国の普通高級中学を設置者、重点・非重点などで分類し、分化・階層化の実態を検討し、学校の施設・設備や予算など学校資産部分にまで分化が進んでいたことを明らかにした。校長と教員のインタビューによって、学校資産と人的資源の不均等による厳しい学校間の階層構造が存在していることが明らかとなった。これは中国普通高級教育の最大の特徴である。これらの学校間の階層構造が生徒の学習行動や教師の指導方法などに与える影響を明らかにした。

また、日本の一般進学校と地方の商業高校を対象にアンケート調査を行った。同調査をもとに、現代高校生の学習行動、進路意識、またはサブカルチャーがどのように変化、影響しているのかの実態を明らかにした。教師に対しては、教育観、生徒の指導方法など教育理念と取り組み方の分化を調査した。

本研究では中国、および日本の後期普通中等教育改革を比較の視点から検討し、両国におけるメリットとデメリットを明らかにすることができた。学校間格差は単に不平等として捉えられるものではなく、エリート養成の機関として特化することで優秀な人材を養成する機会を生み出していると捉えることも出来る。

今後は調査対象校のサンプルを増やすことで、両国の後期普通中等教育改革の比較分析を通じて、より精緻に学校間格差が生徒の学習指導に与える影響を追ってゆく必要がある。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表（題名・発表者名・会議名・日時・場所等）

費駿闖「中国における分化・選別のなかの中等教育」（高校文化研究会）2011.6.20日
於広島大学大学院教育科学研究科。

費駿闖「中国における後期中等教育の学校間格差」

中国四国教育学会第63回大会 2011.11.19～20日 於広島大学。

費駿闖「我国高中教育阶段资源配置现状分析」（教育学研究会）2012.5.20
於瀋陽大学師範学院。

費駿闖「推动普通高中教育多样化发展」（比較教育学研究会）2012.7.10
於瀋陽大学師範学院。

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

費 駱 闖 「中国における後期中等教育の学校間格差」 『中国四国教育学会教育学研究紀要 (CD-ROM 版)』 第 57 卷 2011 年 517～522 頁。

費 駱 闖 「日本教育問題現状透視」 『瀋陽大学年報』 に掲載する予定。

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)